



平成 29 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社エンバイオ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 西 村 実  
(コード番号：6092)  
問合せ先 取 締 役 中 村 賀 一  
(TEL. 03-5297-7155)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり平成 28 年 6 月 27 日に公表した平成 29 年 3 月期の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (※)
前回発表予想 (A)	百万円 5,550	百万円 409	百万円 353	百万円 205	円 銭 43.24
今回修正予想 (B)	5,347	256	98	20	3.80
増減額 (B-A)	△202	△153	△255	△184	
増減率 (%)	△3.7	△37.4	△72.2	△89.9	
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	2,732	298	248	142	30.09

※今回修正予想の平成 29 年 3 月期の「1 株当たり当期純利益」は、平成 29 年 3 月期における期中平均株式数 5,445,368 株に基づいて算出しております。

#### 2. 修正の理由

前回発表予想時と比較して、当社グループの土壌汚染対策事業において、売上が予算に届かない見通しになったことに加え、売上構成比が変化し原価率が上昇したこと等により、営業利益が当初を下回る見通しとなりました。

また、中国の持分法適用会社の受注が想定ほど伸びず赤字であったため持分法投資損失を計上したことや、新規投資した太陽光発電設備に関するシンジケートローンの組成にかかわるアレンジメントフィーの支払いが生じたこと等により、営業外費用が膨らみ、経常利益、当期純利益がさらに大きく予想を下回る見通しとなりました。

国内の土壌汚染対策事業における好調な受注環境から、第 4 四半期における売上の増加で上記のマイナス面をカバーする予定でありましたが、来期の売上計上となる受注が見込みより多く、第 3 四半期までの落ち込みを補うことは難しいと判断し、修正することといたしました。

なお、現状の事業の進捗を鑑み、平成28年6月27日に公表しました中期経営計画についての変更はいたしません。

※上記に記載しました予測数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

以上